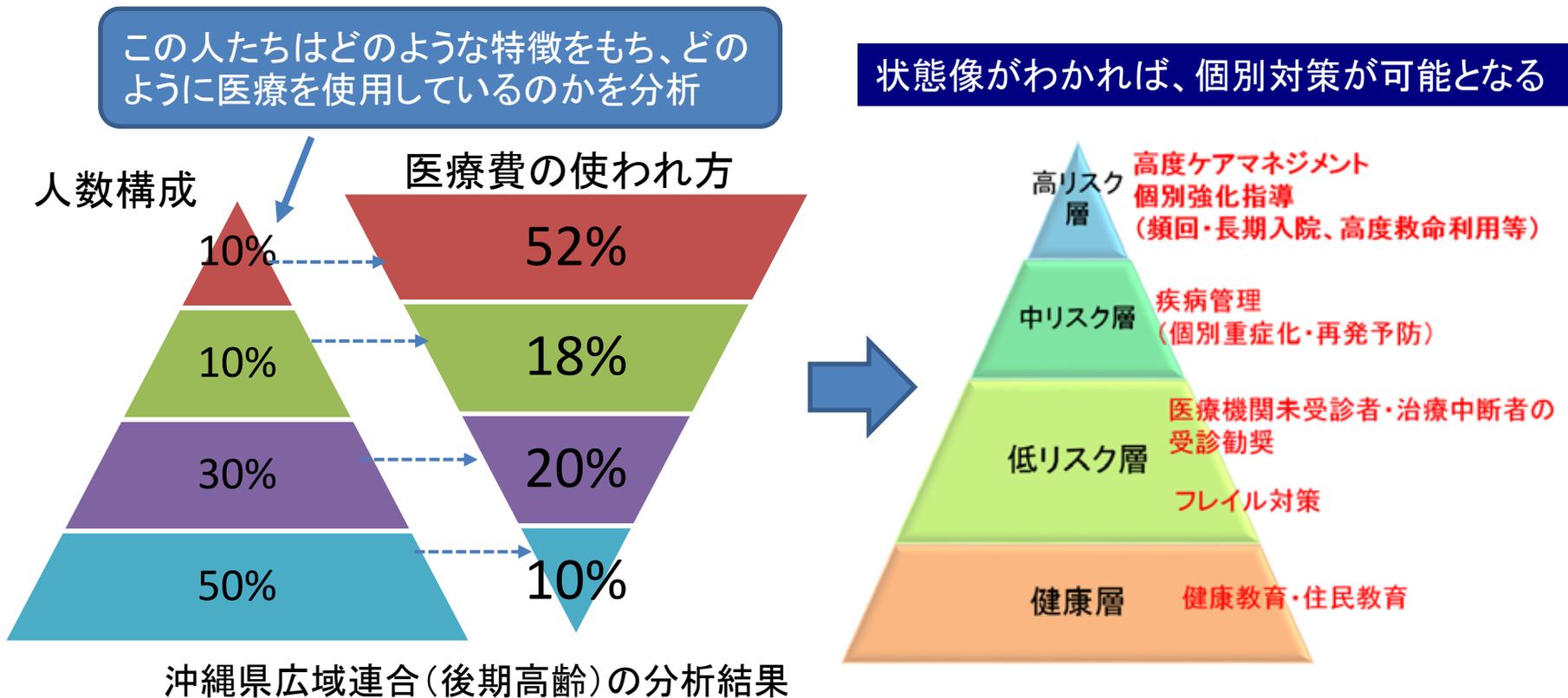


# 1 自治体の国民健康保険・ 後期高齢者医療制度 医療・介護費分析から見えてくる 医療費の使われ方

広島大学大学院医歯薬保健学研究院  
応用生命科学部門 成人看護開発学  
森山 美知子

## 医療保険者が医療・介護財政の健全化に向けて取り組めること

- データの分析により、医療・介護の透明性を確保すること
- 専門性が高く医療者に任せていたことを、データを分析し、公開することで、何が起きているのかがわかる  
人々（構成員）が知ることによって、適正な方向に行動が起こせる  
対策を打つことが可能となる



# 概要

---

## ● 目的

医療費の増加要因について、各種データを包括的に分析することにより、その実態を明確にする。

また、今後の施策を効果的・効率的に展開するための基礎資料とし、ひいては住民のQOL向上及び医療保険財政の安定化に貢献する事を目的とする。

## ● 分析対象者

呉市後期高齢者被保険者・呉市国民健康保険被保険者

## ● 使用データ

以下のデータファイルを個人毎に連結させたデータベースを使用。

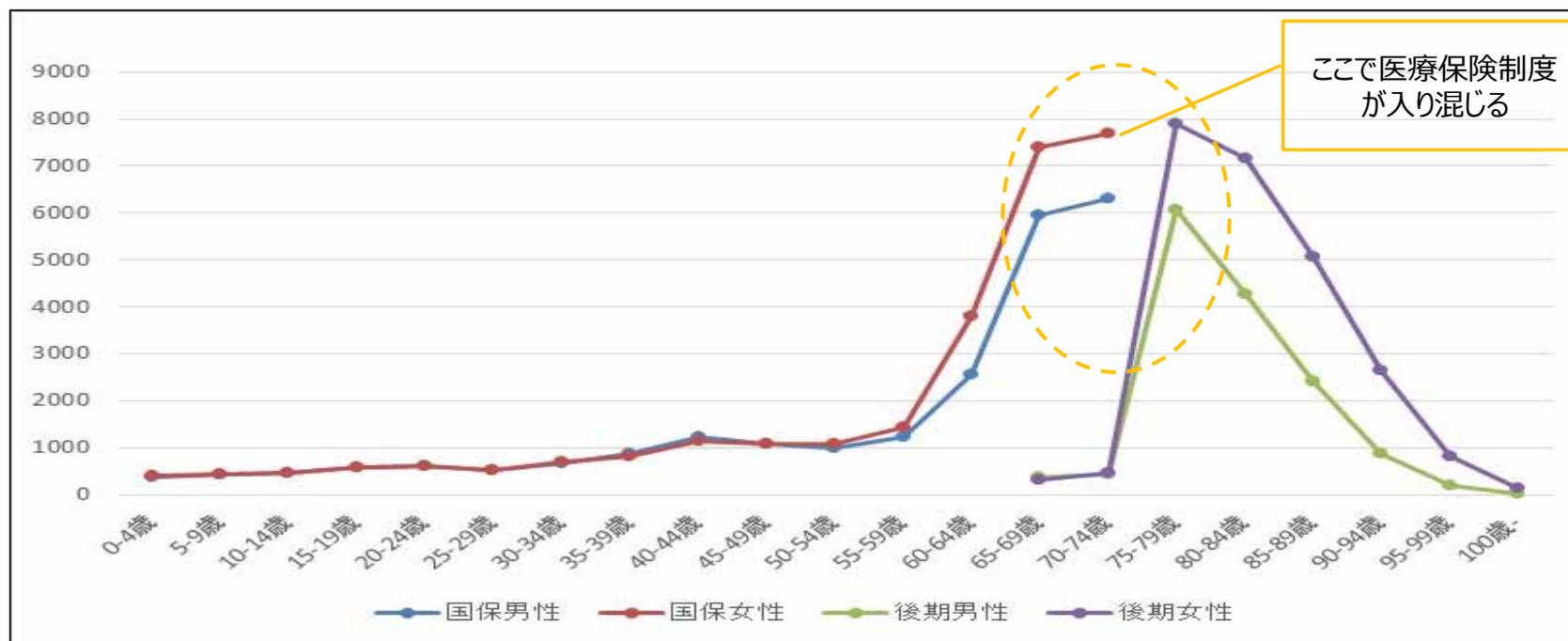
- ① 呉市後期高齢者診療報酬明細書情報（平成26年年度分）
- ② 呉市国民健康保険診療報酬明細書情報（平成26年年度分）
- ③ 呉市国民健康保険特定健康診査結果データ（平成26年年度分）
- ④ 呉市介護保険 受給データ・給付データ（平成26年年度分）

# 1. 被保険者の概要 その1

## ● 被保険者の状況(人) (2015年3月時点) (高齢化率 31%)

保険種別	男	女	計
国民健康保険	23,847	28,096	51,943
後期高齢医療	14,580	24,524	39,104
計	38,427	52,620	91,047

## ● 性別年齢階級別にみた被保険者数の度数分布



# 1. 被保険者の概要：外来費

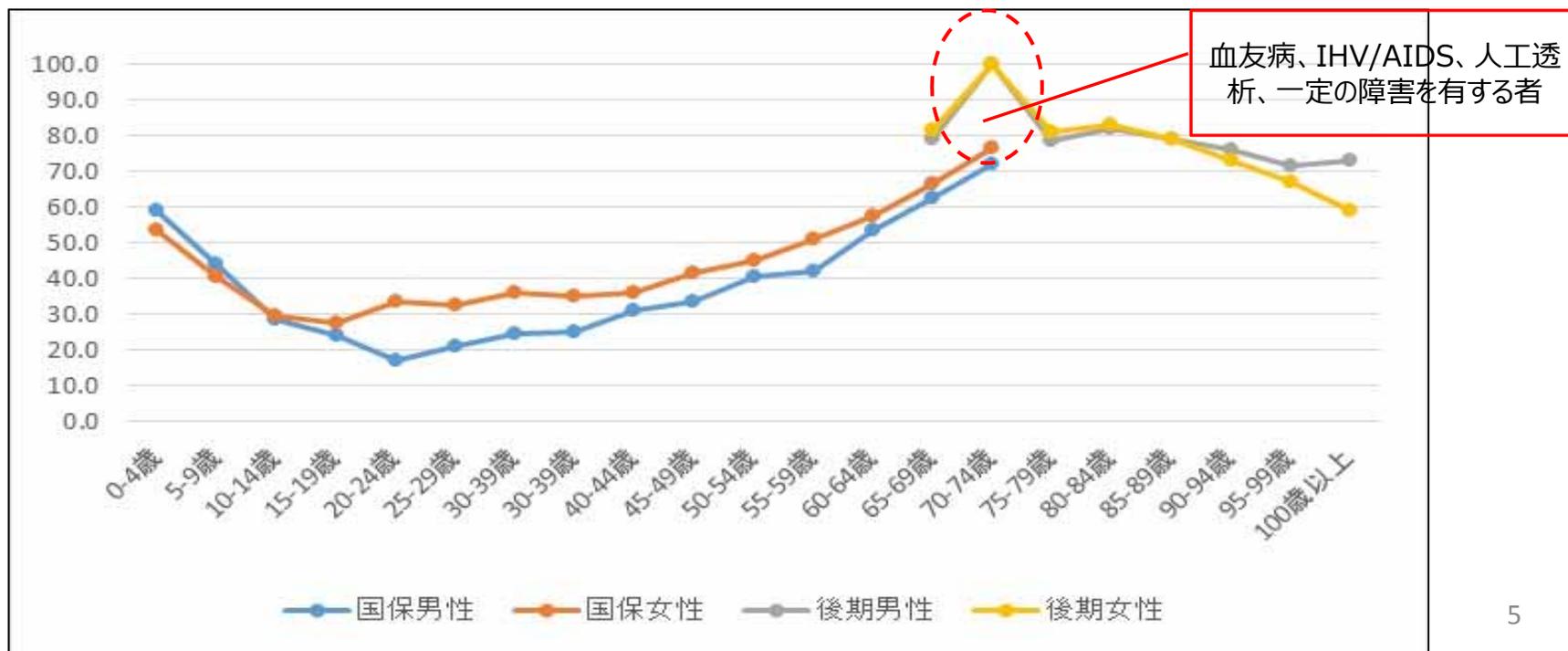
## ● 外来患者の状況 (2015年3月中に1回以上外来に通院した者)

国保患者 29,244人(被保数に占める率 **56.3%**)

後期患者 31,319人(被保数に占める率 **80.1%**)

## ● 性別年齢階級別にみた外来受診者の割合

加齢とともに外来受診率は上昇するが、75歳頃から低下傾向。入院者の割合が上昇



# 1. 被保険者の概要：入院費

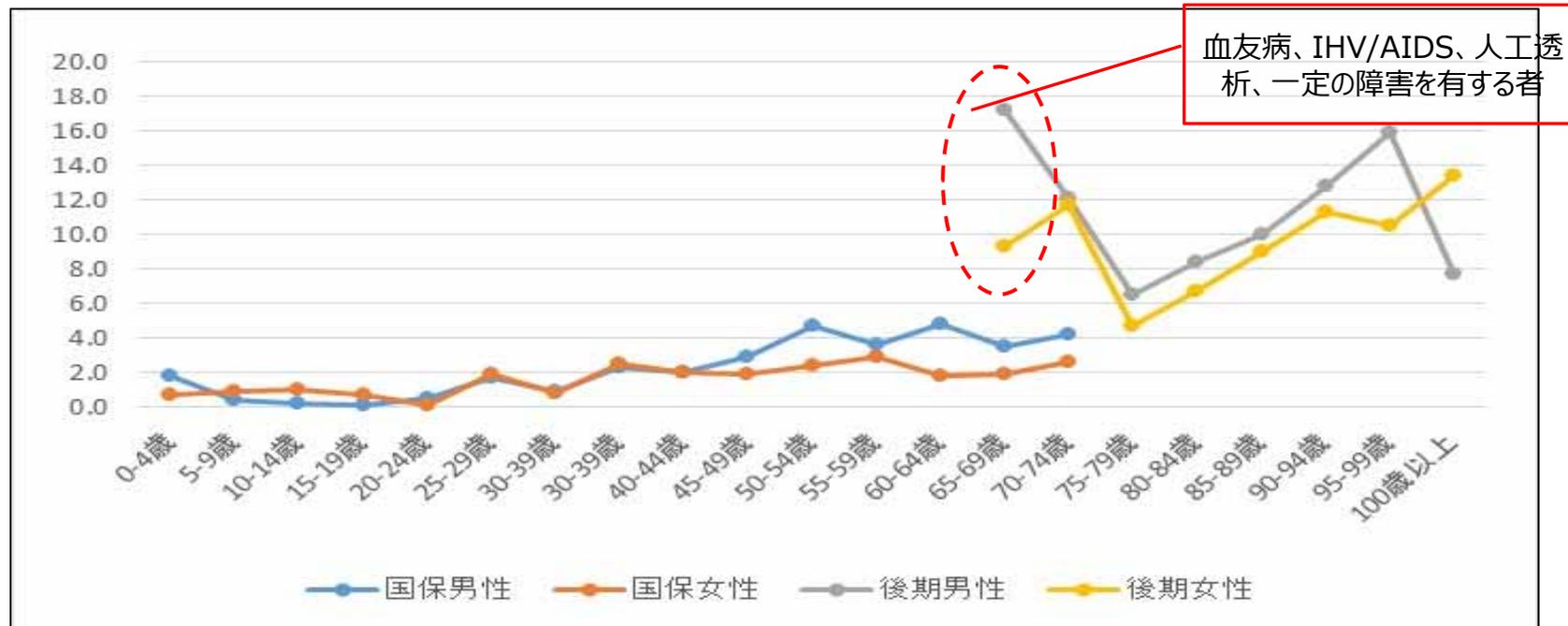
## 入院患者の状況（2015年3月中に1回以上入院した者）

国保患者 1,373人(被保数に占める率 2.6%)

後期患者 3,053人(被保数に占める率 10.2%)

## 性別年齢階級別にみた入院者の割合

男性が多い。25歳頃から緩やかに増加。65歳～74歳で特定疾病認定者が非常に高く、75歳で一旦低下するものの（死亡と推測）、加齢とともに上昇



## 2. 医療費区分別分析 その1

● (国保+後期)患者数(年間) 63,582人

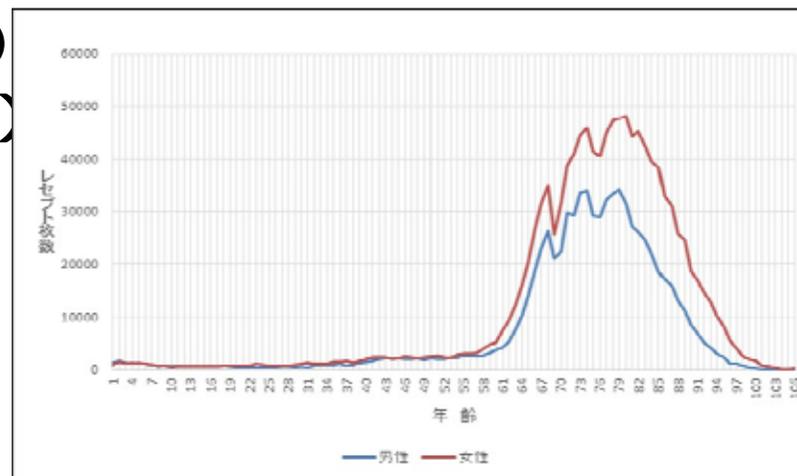
レセプト枚数(年間) 1,944,203枚

国保患者 866,051枚( 86.6万枚)

後期患者 1,078,152枚(107.8万枚)

● 医療費総額 約584億円

- ・ 入院が48% (278億)
- ・ 外来・調剤が52% (306億)
- ・ 70~74歳が最も医療費を使用している (113億)
- ・ 年代別では、平均医療費が高いのは、100~104歳で58,780円



(円)

総額		後期高齢医療	国民健康保険
	58,428,690,200	37,813,211,840	20,615,478,360
外来	30,599,039,350	18,908,866,650	11,690,172,700
入院	27,829,650,850	18,904,345,190	8,925,305,660

## 2. 医療費区分別分析 その2

### ● 診療報酬の平均値

加齢とともに外来、調剤点数は上昇。平均が最も高いのは入院で、外来や調剤点数は入院レセプトに比較するときわめて少額。90歳以上の平均点数が高い。

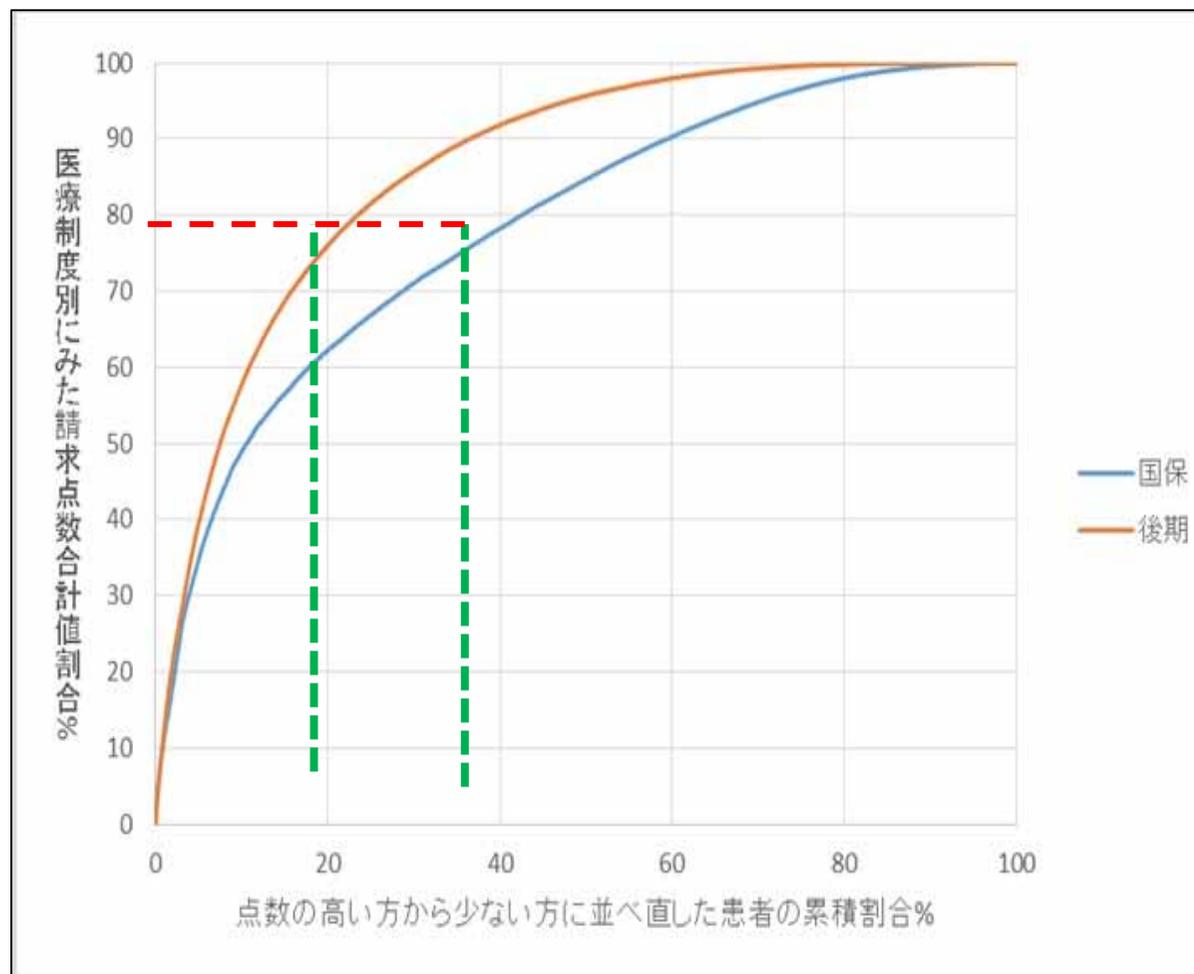
### ● 年齢階級別にみたレセプトの種類別請求点数平均値

年齢	男性患者の請求点数平均値(点)				女性患者の請求点数平均値(点)				男女合計点数 平均値(点)
	外来	調剤	入院	合計	外来	調剤	入院	合計	
0-4歳	980	537	40,298	1,225	962	544	30,698	1,037	1,131
5-9歳	780	756	35,462	1,042	766	621	48,428	1,023	1,033
10-14歳	799	714	30,657	908	813	1,056	60,041	1,937	1,422
15-19歳	795	1,066	48,964	1,213	737	835	25,503	1,015	1,114
20-24歳	820	881	62,202	1,828	875	622	32,856	1,250	1,539
25-29歳	1,184	951	43,200	2,729	1,110	724	33,307	1,702	2,215
30-34歳	1,519	1,300	49,632	2,390	1,002	1,132	46,836	1,763	2,077
35-39歳	1,580	1,210	46,066	3,089	1,336	1,315	58,183	2,675	2,882
40-44歳	2,079	1,538	45,701	3,476	1,465	1,191	49,055	2,610	3,043
45-49歳	2,316	1,433	54,558	3,781	1,752	1,288	49,103	2,648	3,215
50-54歳	2,912	1,714	50,586	4,625	1,919	1,278	44,227	2,586	3,606
55-59歳	2,359	1,633	45,704	3,956	1,383	1,092	47,103	2,323	3,139
60-64歳	2,410	1,503	51,438	3,913	1,528	1,119	50,554	2,042	2,978
65-69歳	1,894	1,482	54,347	3,150	1,506	1,197	55,821	2,166	2,658
70-74歳	1,825	1,442	57,541	3,066	1,556	1,244	54,066	2,238	2,652
75-79歳	1,922	1,552	54,864	3,306	1,609	1,400	54,550	2,620	2,963
80-84歳	2,034	1,622	54,583	3,796	1,792	1,518	50,221	3,044	3,420
85-89歳	2,151	1,676	49,857	4,047	1,907	1,595	48,830	3,612	3,830
90-94歳	2,234	1,639	48,923	4,937	2,089	1,661	47,977	4,538	4,738
95-99歳	2,605	1,656	44,467	5,656	2,425	1,561	43,693	5,050	5,353
100-104歳	3,235	1,339	40,502	5,520	2,318	1,463	42,914	6,237	5,878
105-109歳	3,463	386	24,246	2,694	3,523	1,465	43,892	6,773	4,734
110歳-					1,470			1,470	1,470

## 2. 医療費区分別分析 その3

### 医療費のパレート分析

国保患者の約4割が、総医療費の約8割を使用（他の保険者（2:8）よりも緩やか）  
後期患者の約2割が、総医療費の約8割の医療費を使用（標準的）。



<パレート分析とは>

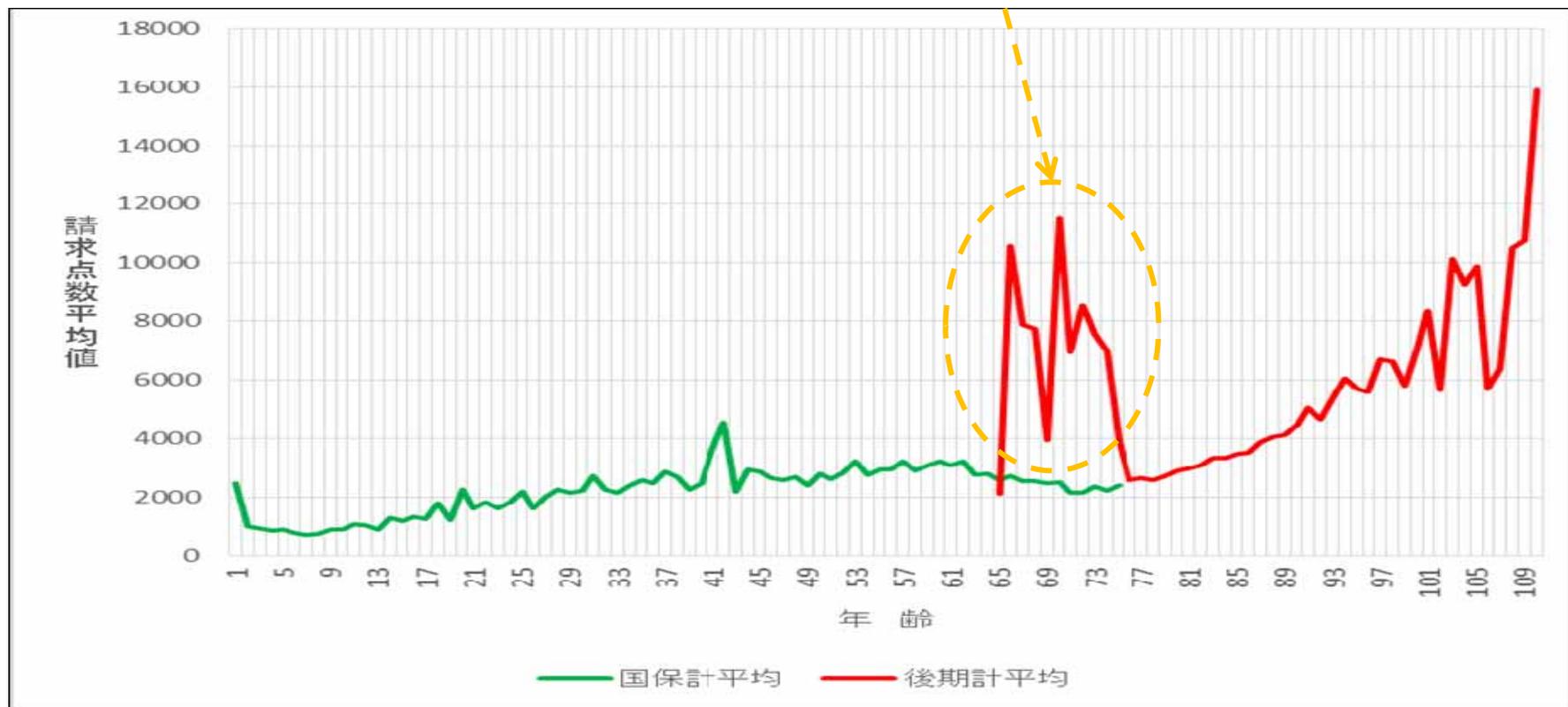
全体に占める各構成要素の割合を明確にすることで、何に重点的に力を注ぐべきか、その重要度や優先度はどのくらいかを分析する手法。

# (参考) 他の市の分析

## 医療制度別、年齢別にみた医療点数 (1年間の医療費の平均点)

加齢にともない、一部の患者の入院医療費の増加によって医療費が大きくなる。後期高齢者医療制度に含まれる「前期高齢者 (65歳以上75歳未満) の医療費が突出して高いのは、特定疾病や「一定程度の障害のある状態」にある者であり、高額な医療費を要するためである。

ここには、糖尿病の合併症、人工透析、脳卒中、心筋梗塞など本来予防ができるはずの生活習慣病の重症事例、防ぐことができる感染症 (H I V感染) 者が含まれる。



### 3. 疾病コードに基づいた疾病構造の特徴 その1

#### 入院・外来医療費の比率

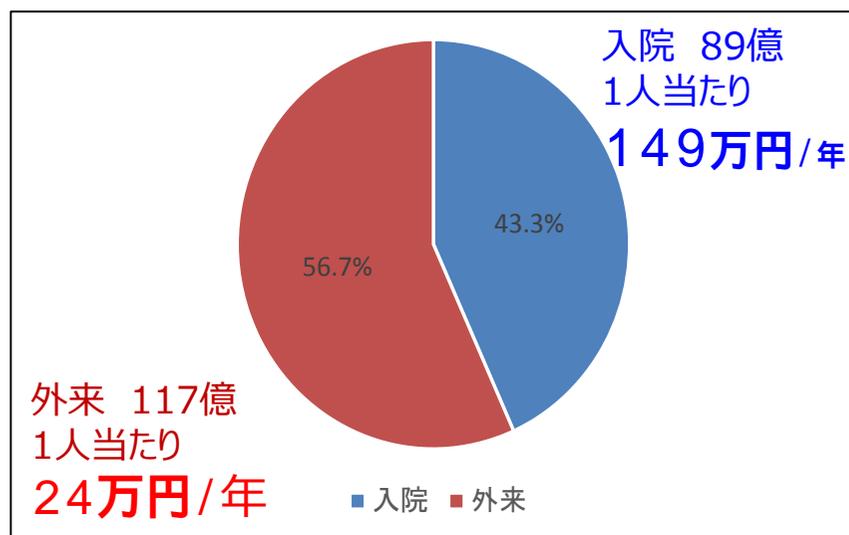
国保患者の入院医療費合計額

傷病名コード数	人数	合計金額	一人当たりの医療費
748	5,993	8,925,305,660	1,489,288

国保患者の外来医療費合計額

傷病名コード数	人数	合計金額	一人当たりの医療費
1,139	47,867	11,690,172,700	244,222

#### ●国保患者の入院・外来医療費の比率



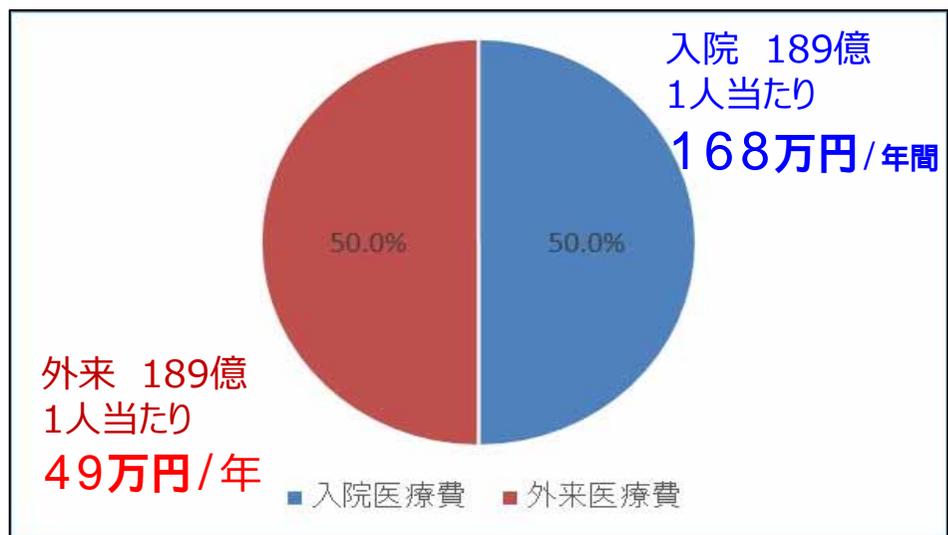
後期患者の入院医療費合計額

傷病名コード数	人数	合計金額	一人当たりの医療費
705	11,274	18,904,345,190	1,676,809

後期患者の外来医療費合計額

傷病名コード数	人数	合計金額	一人当たりの医療費
1,001	38,639	18,908,866,650	489,373

#### ●後期患者の入院・外来医療費総額の比率



### 3. 疾病コードに基づいた疾病構造の特徴 その2

#### 入院医療費（疾病ごとの合計医療費、主病名からみた分析）

##### 【国保】合計金額が上位の傷病名

順位	傷病名 (ICD10コード)	合計金額に占める割合	累積割合	人数順位
1	統合失調症	11.8%	11.8%	1位
2	アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害	3.2%	15.0%	15位
3	脳梗塞	2.9%	17.9%	4位
4	気管支及び肺の悪性新生物	2.8%	20.6%	10位
5	胃の悪性新生物	2.3%	23.0%	6位

- ◎ 精神疾患、脳血管疾患、悪性新生物、骨折、腎疾患、心疾患が上位を占め、30疾患までで入院費全体の50.0%
- ◎ 統合失調症の医療費の大きさ（11.8%）が突出している。アルコール、脳卒中（アルコールは関連）が高い。

##### 【後期高齢】合計金額が上位の傷病名

順位	傷病名 (ICD10コード)	合計金額に占める割合	累積割合	人数順位
1	大腿骨骨折	6.8%	6.8%	2位
2	脳梗塞	5.0%	11.8%	4位
3	慢性腎不全	4.0%	15.8%	8位
4	心不全	3.8%	19.7%	1位
5	アルツハイマー病	2.9%	22.6%	13位
6	統合失調症	2.1%	24.6%	36位
7	肺炎, 病原体不詳	2.0%	26.6%	3位

- ◎ 大腿骨骨折、脳卒中、腎不全、心不全、アルツハイマー病、統合失調症、肺炎（誤嚥性肺炎を含む）上位を占め、30疾患までで、入院費全体の53.8%を占める。

#### 外来医療費（疾病ごとの合計医療費、医療費グルーピング）

##### 【国保】合計金額が上位の傷病名

順位	傷病名 (ICD10コード)	合計金額に占める割合	累積割合	人数順位
1	本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	10.3%	10.3%	3位
2	リポたんぱく<蛋白>代謝障害及びその他の脂(質)血症	5.7%	16.1%	1位
3	詳細不明の糖尿病	4.8%	20.9%	4位
4	慢性腎不全	3.9%	24.8%	134位
5	統合失調症	3.6%	28.4%	86位
6	慢性ウイルス肝炎	2.8%	31.2%	64位
7	インスリン非依存性糖尿病<NIDDM>	2.1%	33.3%	28位
8	胃炎及び十二指腸炎	2.1%	35.4%	2位

- ◎ 上位30位までの疾患で外来医療費全体の59.8%を占め、高血圧症、代謝障害、糖尿病、腎疾患、精神疾患、肝疾患等が上位を占める。

##### 【後期高齢】合計金額が上位の傷病名

順位	傷病名 (ICD10コード)	合計金額に占める割合	累積割合	人数順位
1	本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	11.2%	11.2%	1位
2	慢性腎不全	8.6%	19.8%	78位
3	リポたんぱく<蛋白>代謝障害及びその他の脂(質)血症	4.2%	23.9%	4位
4	詳細不明の糖尿病	3.7%	27.7%	3位
5	アルツハイマー病	3.5%	31.1%	44位
6	心不全	2.8%	33.9%	6位
7	骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>, 病的骨折を伴わないもの	2.6%	36.5%	11位
8	膝関節症[膝の関節症]	2.2%	38.7%	14位
9	胃炎及び十二指腸炎	2.1%	40.8%	2位

- ◎ 上位30位までの疾患で外来医療費全体の65.6%を占め、高血圧症、腎疾患、代謝障害、糖尿病、アルツハイマー病が上位を占める。

◎ 薬価の高い新薬の使用などが医療費を押し上げる？